

国保増税の前にムダを削る努力を

質問

今後の大きな支出として土木関係では①総合斎苑②大型給食センター③庁舎④勝幡駅前開発⑤公共下水道⑥築40年以上の小中学校、高齢者福祉関係では⑦医療費や介護費の増加が見込まれる。

一方、5年後から段階的に地方交付税が15億円減り、生産者人口現象による税収減も見込まれ厳しい状況が目前だ。また、平成21年度には市民一人あたりの借金は約16万円、1年で1万8千円増、市全体で約12億円借金が増えている。(表参照)



吉川三津子 議員

新しい事業を始めれば何かを諦める時代だが、どのように事業を精査しているのか。

企画部長

予算の範囲で優先順位をつけて決めている。

質問

事業を減らさなければ、職員も減らない。一つの事業で複数の課題を解決したり、よく似た事業をひとつにまとめるなどの手法が必要では。

企画部長

重複する事業もあり、事業

整理をしないと職員数も削減できない。提案として受け止めさせてほしい。

質問

事業を整理するには、市の組織変更が必要。たとえば、出産から成人までを扱う「こども課」を設置したり、縦割り行政に横串をさすような組織を作ったりして事業を整理すべき。庁舎建設時に組織の見直しをすべきだが。

企画部長

横断的な組織を含め、事務事業も含めた中で見直す必要があると思っています。

質問

一度に施設の改修や建て替え時期が重ならないよう「長寿化計画」を提案してきたが、どうなったか。

企画部長

組織を立ち上げ、4月から情報を集約する。今後の財政シミュレーションを作るのに必要であり、着手したい。

質問

古い校舎、老朽化した公共施設、庁舎建て替えによる旧庁舎の利用など未着手の状況だ。新たな施設建設計画は凍結すべきでは。

副市長

凍結に関しては保留とし、まずは施設の長寿命化の組織体制をつくる。

■将来に回した借金■(愛西市バランスシートから)

市全体	平成20年度	平成21年度
①資産(基金や積立金など)	21,785,605千円	20,990,790千円
②負債(市債や債務負担など)	31,441,316千円	31,839,743千円
将来に回した税金(②-①)	9,655,711千円	10,848,953千円
市民一人あたり	平成20年度	平成21年度
①資産(基金や積立金など)	325,874円	314,125円
②負債(市債や債務負担など)	470,305円	476,479円
将来に回した税金(②-①)	144,431円	162,354円

ゴミ減量！一人あたり1日40gを

市民生活部長

人口推計を見直し、10年後には一人あたり1日約40g減らす計画とする。

質問

市のゴミ基本計画では、10年後に一人あたりのゴミ排出量が増えるといった恥ずかしい計画になっている。見直しすべきではないか。

その他の質問

★情報発信にツイッターを